



2023.3.2 (木)
第30回例会
(通算3699回)

2022-2023 年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「創り出そう身近な奉仕を 友情、愛情 そして熱意で」

第85代会長 滝越 康雄
副会長 清水 輝彦
幹事 中島 政徳
編集責任者 クラブ会報・雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町5-3 ミツ輪ビル2F
 0154-24-0860  0154-24-0411

2022-2023 年度
国際ロータリーテーマ



2022-2023 年度
R1会長 ジェニファー・ジョーンズ
第2500地区ガバナー
久木 佐知子 (旭川西 RC)

月間テーマ	水と衛生月間
本日のプログラム	嵯峨記念奨学生卒業報告会 (担当: 嵯峨記念育英会委員会)
次週例会	例会通算 3700 にちなんで (担当: 親睦活動委員会)

■ロータリーソング: 君が代・奉仕の理想 ■ソングリーダー: 藤井 敬亮君

■会員数 104名

■ビジター なし

■ゲスト 北海道釧路湖陵高等学校 遠見 光留さん・北海道釧路江南高等学校 吉野 風花さん
武修館高等学校 舩瀨 菜々子さん・北海道釧路東高等学校 福原せりかさん

会長の時間

滝越 康雄会長



お食事中の方はどうぞお続けください。今日は弥生3月の2日目です。今日はロータリークラブの雰囲気がいつもと違います。嵯峨奨学生の方が春一番、春を運んでくれた感じで、明るい感じがしております。

奨学金制度の歴史とか制度に関しましては、私の後に川本委員長がお話すると思います。

私からは高校卒業され前途ある若い方々に話をしたいと思っております。

私が最近買った本で、『科学がつきとめた運のいい人』という本があります。運のいい人・悪い人、運勢を少し科学的に分析している研究者の本です。この中で世界的に有名なナディーヌ・ロスチャイルドという方、世界的な財閥のご夫人です。結婚して世界一の玉の輿に乗ったということでも有名になった人です。過去の履歴を見ると、家庭でいろいろギクシャクがありまして、中学を卒業とともに家出をしたそうです。食べていくために職を転々として、小さな劇場の女優として、そこでロスチャイルド家と触れたのです。ロスチャイルドという歴史的に名高い大富豪との偶然の出会いで結婚に至ったのです。そこで美と贅沢の二つの世界を手

に入れたという立志伝の話です。

ロスチャイルド夫人はその著書の中で、「あなたが心を配るべきなのは自分自身です」と書いています。「人の運の良し悪しは周囲の人といかに良好な人間関係を築けるかで決まる」と。この後には、「自分を大切にしている人は、他の人からも大切にされる」。「逆に自分を粗末にしている人は、他の人からも粗末にされる」。そして、「運のよい人は自分自身を大切する」と結論づけております。

例えて言うならば、自分の部屋では常にきれいに後片付けをするとか、ひとりでお茶を飲むときには、欠けたカップなどは使わないで一番いいカップでお茶を飲むとか、夕食を一人でとるなら少し贅沢に、お花を生けて、美しいデザートで少し自分をほめるような感じの生活をしてごらん下さい、と。

後片付けの話ではないですが、ゴミだらけは机の上から始まりますが、書類の山はほっといたらゴミの山になります。ゴミだらけの所には他のゴミが捨てられやすくなります。これには、『割れ窓理論』があるのです。どこかの街に窓ガラスが割れたまま放置していた空き家があったとします。また、割られるのです。誘発してしまうのです。何を言いたいかというと、小さなことをおろそかにすると、さらに悪くなる、ということです。人の運勢もそういうものだ。

これからの人生がある若い方ですから、長い人生の生き方としてこの話のエッセンス、「運のいい人は自分

自身を大切にする」、これだけを記憶にとどめてください。
この話を会長挨拶に代えます。どうもありがとうございます。

幹事報告 中島 徳政幹事

幹事報告をさせていただきます。先週、26日(日曜日)の第29回ロータリーカップが行われております。会場に来ていただいた方、寒い中ありがとうございます。報告につきましては、別に例会を設けて報告させていただきます。ホームページには写真等が掲載されておりますのでご覧いただければと思います。二つ目、3月のロータリーレートは136円です。2月より6円、大幅に円安になっております。三つ目、先日ご来訪いただきました美馬ガバナー補佐と進藤IM実行委員長より正式にIMのご案内が届いております。移動方法等をしっかり決めたくて皆さんにご案内を、と思っております。日時は5月13日ので、ぜひ大勢で参加したいと思っております。それから、1月中旬に12月分の出席表を出しましたが、誤りがあることが分かりまして、本日、手直したものをテーブルに1部ずつですが置かせていただいております。それぞれご確認をいただきまして、100%出席に向けてお願いをしたいと思います。次週は夜間例会です。イレギュラーですが理事会を例会前の17時からと設定させていただいております。理事の方はお忘れなくお願いいたします。ガバナーより「トルコ・シリアの大規模地震に関わる災害援助金のお願い」が来ております。その例会中に募金箱を回させていただきますのでご協力お願いします。以上です。

■本日のプログラム■ 嵯峨記念奨学生卒業報告会

嵯峨記念育英会委員会 川本 和之委員長

皆さん、こんにちは。嵯峨記念育英会委員会を担当しております川本です。よろしくお願いいたします。本日は嵯峨育英会の奨学生の卒業発表会ということで、4名の奨学生と保護者の方にお越しいただいております。本当にありがとうございます。



今日の奨学生は2020年に決まった方々ですけれど、2020年というオリンピック・パラリンピックがあって、日本が躍動する期待感のある年だったように思っております。新型コロナウイルスの発生で天国

から地獄に落ちたといってもいいくらい全世界が、そして日本の経済、生活環境、全てが変わった始まりの年でありました。

奨学生の皆さんは、そんな3年間、無事に高校を卒業され、そして今日に至っています。これからの明るい未来を信じて、そしてこの大変な時期を経験したことを活かしながら、これからの生活に役立てていただきたいと思っております。

育英会の件につきましては、石田理事長から説明があると思います。

これから卒業生の報告会を進めさせていただきます。それでは、奨学生の湖陵高校・邊見さん、そして江南高校・吉野さん、武修館高校・舛潟さん、東高校・福原さん。この順番で一人ずつ報告をいただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

それでは邊見さん、よろしくお願いいたします。

北海道釧路湖陵高等学校 邊見 光留さん



本日はこのような中に立たせていただきありがとうございます。世界中で猛威を振るった新型コロナウイルスの影響で約1カ月間の休校、学校行事の中止をはじめ、当初、思い浮かべていたものとは少し異なる高校生活となりました。そのような状況の中で、釧路ロータリークラブの皆さまや友人・家族など多くの方の支えによって無事に高等学校を卒業し、新たなステージに進むことができること嬉しく思います。

大学では水産学を学び、水産資源についての研究をしたいと考えています。そして、その後は大学で学んだ知識や経験を活かし、私が生まれ育った海の街・釧路はもちろんのこと、世界の役に立つような商品の開発や技術の整備に携わることが私の現在の目標です。充実した大学生活を送り、目標に一步近づくことができるよう精一杯努力していきます。3年間のご支援、本当にありがとうございました。

北海道釧路江南高等学校 吉野 風花さん



この度はこのような会に参加させていただき、ありがとうございます。私は前回、この場でお話をさせていただいた時に、高校では文武両道を目指してがんばっていきたくてお話をさせていただきました。

部活では、小学校から続けているバレーボール部に入部しました。しかし、入部してすぐに1カ月間、学校が休校となってしまい、休校が明けたあともマスクを付けたままで部活をしなければいけないなど、さまざまな制限がかかってしまいました。

また、1年生の時に先輩がすぐに辞めてしまい、キャプテンを務めることになり、同級生が何名か辞めてしまい、人数が少なくて大会に出られないこともありました。

たくさん大変なこともありましたが、たくさんの人に支えてもらったおかげで3年間しっかりと続けることができました。この部活の経験をとおして私はどんな困難があっても立ち向かえる力を身につけることができました。今後、社会に出た時も、たくさん大変なことがあると思います。私は決してあきらめずに乗り越えていきたいと思っています。

勉強の面では、看護師になるために大学への進学を目標に3年間勉学に励みました。大学に進学したいと考えた理由は、今の医療は高度化しているため、しっかりと技術や知識を身につけ、発展した医療現場でも活躍していきたいと考えたからです。

旭川大学の合格をいただくことができましたが、第一志望である札幌市立大学の合否はまだわかりません。どちらの大学に進学することになっても、しっかり自分の目標を持ち、4年間勉学に励んでいきたいと思っています。

私は祖父母に育ててもらったので、大学卒業後は釧路に戻ってきて働きたいと考えています。この場にいる皆さんや家族、他にもたくさんの方にこの18年間育てて、サポートしていただきました。釧路で働いて、支えて下さった皆さまに次は私が恩返しをしていきたいなと考えています。

3年間、本当にありがとうございました。

武修館高等学校 外淵 菜々子さん



皆さん、こんにちは。この度はこのような会に参加させていただき、誠にありがとうございます。私は武修館高校を卒業し、春から札幌医科大学医学部医学科に進学します。医師として多くの人を救うことは幼いころからの夢であり、進学が決まったことによって夢の実現に大きく近づくことができました。

私の高校3年間はコロナ禍だったからこそ経験できたことが多くありました。さまざまなオンラインのイベントで世界中の方と議論を交わしたり、新型コロナウイルス感染症という共通の話題を通じて、今までよ

り幅広い年齢の方と、また地域の方と話す機会もあつたりして、未知のウイルスに対する恐怖や混乱を間近で見聞きしたことで、より一層、医師になって人々を救いたいという思いが大きくなりました。

また、最も印象に残った経験のひとつとして、北方領土を考える高校生弁論大会への出場があります。実際に元島民の方や有識者の方の前で意見を発表する経験はとても貴重であり、領土問題をはじめとする社会問題については若い世代が考え、語り、次の世代へつなげていくことが大切なのだと実感しました。

学校での活動としては3年間、生徒会に所属していて、2年の時には生徒会長を務めさせていただきました。コロナ禍で行事が縮小される中、感染対策の徹底と生徒の希望実現を両立させるため、生徒会役員で何度も企画を練り直し、すべての行事を成功させることができました。

3年間いただいた奨学金で予備校に通うなど学習環境を十分に整えることができたことで、充実した高校生活を送ることができ、大学合格につながりました。3年間、本当にありがとうございました。

私は将来、病気の原因究明などを進め、国際的に活躍できる研究員になりたいと思っています。そして、国外で学んだ知識を北海道、そして何より故郷である釧路に還元し、恩返しをしたいと思っています。3年間、本当にありがとうございました。

北海道釧路東高等学校 福原せりかさん



本日はこのような会にお招きいただき、ありがとうございます。

高校生活で頑張ったことは3つあります。1つ目は部活動

です。ハンドボール部の部長として練習メニューを考えて、チームをまとめてきました。2つ目は勉強です。友達と教え合い、常に努力してきました。3つ目は3年間皆勤だったことです。体調管理や自己管理することには自信があり、中学校から6年間皆勤することができました。

卒業後は釧路短期大学幼児教育学科に進学をします。将来は子どもと一緒に運動を楽しめる保育士になりたいと思っています。

東高校での3年間はすごく充実していて、とても楽しかったです。ありがとうございました。

石田 博司 嵯峨記念育英会理事長



4人の方々の発表は、自分をしっかり見つめた素晴らしいスピーチでした。見ていたら、メンバーの頭がだんだん下がっていました。

きっと、聞いていて恥ずかしかったのだろうと思います。私もちょっとやりづらいなと思っています。嵯峨育英会についてお勉強のつもりで聞いてください。これは前の理事長の吉田潤司さんがまとめてくれた文章です。読んでみます。

嵯峨育英会の歩みです。釧路市内の中心を流れる釧路川にかかる幣舞橋から富士見坂を上りきる、その途中の木立の中、港を一望する場所に銅像が建っています。これはご存じですか。これは木で囲まれて見えません。車で通るのですが、車を降りて見ようとしても危なくて見たことはないです。

ただ小学校のころは、あんなに木がうっそうとしていませんでしたから見た記憶があります。経済人で銅像が建つことは釧路では嵯峨さんだけのはずです。

石田家では先代の父の銅像が事務所に置いてあります。これは私が作ったのではなく、父が生前に父と親しくしている方に作っていただいて、亡くなったことで事務所に来ました。三回忌が終わった時に下げようと思ったのですが、その時、重鎮の古い重役に「駄目だ」と言われたのでそのまま置いてあります。なので、非常に仕事がやりにくい。

その嵯峨さんですが、釧路の漁業の近代化に情熱をかけた釧路水産界の先駆者の故嵯峨久氏を顕彰した像なのです。

大正初期の釧路港はマグロ漁業の基地として大変活気がありました。これは転勤族の方などご存じない方もいるかもしれません。昔の釧路は『マグロの釧路』と言われ、ずいぶんマグロが獲れたのです。

当時の漁船は「川崎船」といって、風帆船、今でいうとシマエビを獲る帆の付いた船で、無動力船でした。台風等の悪天候の際には、港に戻る速度が極端に遅く、悪天候の被害をまともに受けた海難事故が大変多く発生するという状況にあったのです。

そこで、久氏は積極的に漁業者に発動機船の導入を促し、漁業効率を高め、同時に悪天候等による被害を少なくするなど、漁業の近代化に努めました。また、現在の副港魚揚場に通称・嵯峨岸壁を構築し、マグロの水揚げ効率化に革命的成果をもたらし、釧路の水産業界に大変な業績を残されました。この嵯峨岸壁漁港は完全に民間の埋め立て事業として行われ、卸売市場・冷凍・冷蔵・製氷工場や漁業無線・燃料タンク基地がありました。残念ながら昭和20年の空襲で焼失しま

した。故嵯峨久氏は釧路漁業の父とも言われた人で、昭和初期に釧路魚菜市場の社長を務めておられます。嵯峨氏は若いころ、向上心に燃えていましたが大変貧しくて経済的理由から十分な勉学をすることができませんでした。成功を収めたあと、「向学心に燃えた青少年に経済的援助をすることにより勉学の機会を与えることができないだろうか」と常日頃、話していたということです。しかし残念なことにその夢をかなえることができず、昭和35年8月12日、病氣療養中の東京にて亡くなりました。享年84でした。

当時の詳しい資料はありませんが、久氏は育英会設立に奔走されていたと思われます。嵯峨久氏の後を継がれたご子息の嵯峨晃氏もまた、釧路の漁業発展に尽くされ、経済的な手腕も相当なものがあり、釧路経済界のリーダーとして活躍された方でした。晃氏はその父の夢をかなえようと苦労を重ねたうえ、久氏が亡くなったおよそ1年後、昭和36年12月16日に『財団法人嵯峨青少年育英会』を設立しました。

ここまで読んだときに、戦慄を覚えるのです。自分が苦学をしたから育英会を作ろう。それは確かにあるでしょう。けども、そのお父さんの半ば志を継いで、何としてでも私財を投げうって、お父さんの気持ちをかなえるために育英会を設立しようとした嵯峨晃さんの思いは分かりますけれど実感としては分からない。すごいと思うのです。この後、それがどんな金額かを聞くと皆さんも恐らく戦慄を覚えるのではないかなと思うのです。

当時、育英会を作ろうとすることは大変なことです。現在のようにインターネットで調べることができず、育英会設立の手引書関係の本も皆無で、試行錯誤をしながら設立されたようです。監督官庁との連絡をひとつとっても、長距離電話で交換手を経由し、空き回線を数時間待ち、指導受けて作成するというその努力は想像を絶するものがあります。東京ロータリークラブが主管の米山奨学会が昭和27年設立で、それに遅れること9年で、北海道の片田舎で育英会が誕生したことは特筆すべき出来事と思われます。

久氏、晃氏の2人とも釧路ロータリークラブの設立メンバーです。嵯峨晃氏は、1961年に分区代理制度ができた時の地区初代分区代理を務め、1965-1966年地区ガバナーを務めております。

晃氏は、育英会設立にあたり、育英会の目的について次のように述べておられます。

「人のお世話にはならぬよう、逆に人のお世話するよう、そして報いを求めぬよう。自立、独立の志ある人、この人こそがわれわれの友である」。これは元東京市長の後藤新平さんの言葉です。「この言葉にあるような人が現在くらい必要な時代はないと思われます。このような若い人を発掘して、われわれのささやかであるが、心の込めた贈り物をぜひ送りたい。これがわれ

われ財団の念願であります」。

これが設立された嵯峨晃さんのお言葉なのです。

育英会設立当時の資料はほとんど残っておりませんが、設立申請書控え、および当時の預金通帳が残っており、設立時の苦労が感じられます。資料によりますと、設立時の基金は1,050万円です。これは現在のお金に換算するとおおよそ1億円前後と考えられます。当時の晃氏は、漁業界はもちろん、釧路市の経済界においても絶頂期にあり、釧路経済界の重鎮として大活躍されていたことが伺えます。

育英会設立時は育英会の運営はもとより、奨学生の募集・選考、奨学金の寄付、などを1人で行っていましたが、余りの忙しさの中で育英会活動を行う時間が少なくなり、その後、育英会が休眠状態になりました。そのような中、育英会設立からおおよそ10年後の昭和47年4月10日、突然、お亡くなりになりました。

晃氏のご逝去があまりにも突然だったため、育英会理事長を嵯峨家より輩出することが難しく、やむなく釧路ロータリークラブ会員の親しいお付き合いがあった、今、いらっしゃいます会員の泉敬氏が理事長代行を務めることになりました。泉さん、どうぞお立ち下さい。泉さんです。

しかし、泉会員も弁護士として大変忙しく、育英会活動に多くの時間を割くことができずに活動は困難を極めました。育英会および嵯峨家として育英会継続方法を模索しましたが、昭和50年9月に嵯峨家より釧路ロータリークラブに以下のような申し入れがありました。

「釧路ロータリークラブに嵯峨青少年育英会を無償で譲渡したいので以降の運営をお願いしたい」。

そこで釧路ロータリークラブは昭和50年10月に臨時総会を開催し、釧路ロータリークラブで運営することが承認されたのでした。

どうぞ今日いらっしゃっている4名の皆さん、この時の状況よく思い返してください。皆さまが受け取ったそのお金というのは嵯峨家からの大変な愛情です。ですから、お金ではなくてリレーで愛情が伝わってきたのだなと思っていただきたいのです。われわれロータリークラブも毎年、会員の年会費の中から嵯峨育英会には基金を積み立てておりまして、枯渇することないように努めております。

今日の4人の発表の中から、何人かが「釧路市に恩返しをしたい」という言葉がありました。まさに背中にビリビリと電流が走った気もしました。私ども大人の世代として、嵯峨さんの気持ちを継承して、釧路ロータリークラブをベースとして次代の若者のために環境を整える、そのようなお手伝いをさせていただかないと釧路ロータリークラブとして、ロータリアンとして嵯峨さんに対して恥ずかしいことになると思うので

す。そういう意味で、とても責任を感じています。

皆さんはもう19歳の成人ですから、大学に行くということは社会人としての人生を歩まれていると思います。私のつまらない人生観をちょっとお聞きいただきたいと思います。

私は飲食業をやっております。父の創業した会社の飲食業ならびにスポーツ関連の小さな会社をやっています。自分の会社以外は知らないのです。父の創業した会社に今日までいるのですが、自分の会社を通して社会を眺めていて、分かった気になることがあります。ウチに入って来る人に必ず聞くわけではありませんが、何人かに1人には機会があったら「君は何のため・誰のために仕事をしているの」と聞くのです。そうすると、「うーん」と言うから、「間違っても会社のためと言わなくても良いよ」と言う、「やっぱり自分のためですかね」と言います。「それはそうだろうな、自分のためですよ。給料もらわないといけなし、生活していかないといけないから。けれども、人というのは、黙っていても自分のために生きていないか」と思うのです。われわれ人間だから、改めて「仕事をする、生きる目的を自分のため」としてしまうと「自分のため」が強くなりすぎるのではないかと私は思うのです。

「どうするんですか」という顔をしてくるものですから、私は自分の仕事を通して思ったのは、良い仕事をするには自分のことは置いて、仕事はおいでになるお客さまと、共に働いてくれる仲間のために自分の身を尽くす。そう思うと良い仕事できると思うのですが、これは経験上のこと。「自分のため」と思ってしまえば、お客さんよりも自分を優先します。仲間よりも自分を優先してしまいます。そうするとお客さんにとっては良いサービスが受けられない。仲間にとっても自分勝手がつい出てしまう。

だから、仕事はおいでなるお客さまと、一緒に働いてくれる仲間、自分のやるべきことが終わったら仲間の分も手伝ってあげるぐらいのつもりでいると、お客さまから喜ばれて「あれ、いいね」と言われる。あるいは仲間からも「あの人にはかなわないね」と言われる自分になるのではないかと。そうすることが結局は自分のためになるのではないかと。何かで学んだことではなくて、自分の仕事を通して得た結論で、今のところは修正しないでこのままです。会社のミーティングで年に2回か3回は言うのです。毎度、毎度は言わないのです。

2年に1回か、1年1回ぐらいかは、ふと気が向いたら言うことは、「ならば、経営者は誰のために仕事していると思う」です。

私は、経営者はお客さまと働いてくれる君たちのために仕事をしている。経営者は健全な職場を提供し続ける義務がある。その義務を負うためにはその責任を果

たさないといけないので、お客さまのために、そしてもう一つは働く諸君のために経営者は仕事していると私は思っています。これは社員が聞いていると「そうでもないですよ」と言われそうですけど。でも、そのようでありたいと願って自分は仕事をしています。今日は皆さまからとても素敵な発表をいただきました。今の志を持って、どうか世の中を生きて行って、「世のため、人のために生きること」が絶対に自分の運を良くしますから。自己犠牲でも何でも無い。たまたま、会長が今日の挨拶で「運を良くする生き方」を仰っていました。世のため、人のためという思いで生きることが自分の運を良くすると思っています。つまらない話をさせていただきました。ありがとうございます。



(記念品贈呈)

本日のニコニコ献金

- 滝越 康雄君 ロータリーカップメンバーの参加ありがとうございます。広報会報の関向さん、工藤さん、吉田委員長の大軍団参加、最後に大山さんのコーヒーの差し入れありがとうございます。
- 中島 政徳君 アイスホッケー大会ご協力ありがとうございます。寒い会場で一日お疲れ様でした。
- 池田 一己君 くしろウィンターパークがスポーツツーリズム大賞を頂きました。スポーツ庁の室伏長官から表彰を受けて参りました。

今年度累計 331,000 円